

「いいとこさがし (じぶんも人も好きになる方法)」



おはようございます。(お早うございまあす。)

今年度、校庭で初めての月曜集会ですね。緑の芝生の上、青空のした。とても気持ちのいい朝です。

さて、始業式の日、今年度も1年生から6年生まで、桃五小の全員が「元気に・仲よく・楽しく」すごしてしていきましょうという話をしました。元気に、仲よく、楽しくすごせていますか？

そして、そのための一つ目の大切な方法は「あいさつですよ。」という話を先週しました。人を大切に思いやっでどうかよろしくという気持ちをこめて挨拶することが、相手の人を元気にし、仲よく一緒にすごせるようになり、力を合わせて一緒にがんばれるようになる、すべてのスタートですと、お話ししました。きっと、みんな心をこめて挨拶できていることでしょう。

それから、みんなが「元気に、仲良く、楽しく」すごすには、「あぶないことはしない」「人のいやがることはしない」「きまりを守る」という3つの当たり前の約束を守りましょうという話もしました。やっでいいこと、やっではいけないこと、やらなければいけないことを自分でちゃんと考えて行動してほしいという話でした。

さて、今日はもう一つ、みんなが仲良く楽しくすごすための方法、自分も人も好きになるための大切な方法……。『いいとこさがし』という話をします。

皆さんには誰にも、とてもいいところと、なおした方がいいな、というところとがあります。桃五小の皆さんにも582人、582通りのいいところがあるのです。でも、なかなかそのいいところをいかせず、自分のことがあと一つ好きではない人が多いような気がするのです。

さて、前にいた学校の3年生に、つつい人に注意されることが多く、「どうせ。」「どうせ！」「どうせ、ぼくなんかどうでもいいんだよ。」「どうせ、ぼくが悪いんだよ！」と言っで、なかなか友だちと協力できず、いつも一人でぽつんとしている男の子がいました。

ある日、このクラスの先生が、道徳の時間に、『ひとつの花』という題名で友だちの『いいとこさがし』をしよう、という授業をしました。

花びらの形の紙に、自分のいいところを一つと、友だちのいいところを書きたい人に書きたいだけ書いて届けるのです。壁のいいとこさがしのコーナーに、まず自分の名前と自分のいいところを○の中にかいて、その周りにいいとこさがしの花びらがはれるようにしておきます。さてさて、全員のいいとこさがしのお花畑ができるでしょうか……？

この、『どうせ』の男の子は、『どうせぼくなんかには花びらなんか届きっこないや。』『どうせぼくのことなんか、誰も見てなんていないや。』と、机に突っ伏していたそうです。

ところが、1日たち二日たち、ちゃんと先生からも、友だちからもこの男の子よさの書かれた花びらが届いて、それを組み合わせて、すてきなひとつの花が出来上がりました。後は、自分で自分の良いところをまるの中に書けば、できあがりです。

このどうせと言っでばかりいた男の子は、この、自分のいいところが集まった花びらを見てとても照れくさそうでした。でも、とっでもうれしそうでした。

そして、まるの中の、『自分の良いところ』に、小さく『みんながおうえんしてくれるところ』と書きました。

そして、自分のいいところをたくさん書いてもらっで、これまで『どうせ』と思っで嫌いだ

どんな人も、いいところをほめられると、いつの間にかなおさなければいけないところまで良くなってしまふものです。

お互いにいいところ探しをして、自分も人も大好きになれるといいですね。

そして、自分のいいところを大切に、もっともっと素敵な子になってほしいと思います。

その逆に、悪いところさがしをしたら、きっと不満ばかりで楽しいことなんてなくなってしまふそうです。

そう、人の悪口を言うよりも、人のいいところを見つけて、ありがとうって言う気持ちでなかよくできる子が素敵だなあと、わたしは思います。

桃五小の皆さんも、いいところさがしをして、たくさん友だちを見つけて、自分のことも人のことも 大好きになってみませんか。

お話し終わります。

